

あなたの声を“かたち”に！

若い力で全力投球！！

勝山ひでお通信

Vol. **15**

ごあいさつ



日頃より、皆様には温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今、日本は世界に類例のないスピードで少子高齢化・人口減少が進んでいます。長野市も全国と同じように少子高齢化・人口減少が最大の課題であります。

そのような中、市民の皆さまの声、現場の声をしっかりと聞きし、その中から何が必要かを見極め、スピード感ある対応で実現していく、現場感覚と実行力が地方議員に求められていると思います。人口が減少しても、まちの活力が失われないよう、市民の皆さんが生き生きと暮らせるよう、暮らしに希望の持てる長野市にしていきたいと思います。決意をしております。

これからはより一層、緊張感を持ち、皆様の期待に応えられるよう、全力で働いてまいります。

今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

加藤市長に子どもの福祉医療費に関する要望書を提出

国は今まで子どもの医療費助成について現物支給化した自治体に国民健康保険の国庫負担金を減額調整するというペナルティーを科してきました。昨年の国会で公明党山口代表はこのペナルティー撤廃に向けて言及。国はそれを受け検討を開始、平成30年度より未就学児までの医療費助成の減額調整を行わないことを決めました。こうした状況を踏まえ、県と市でどのように対応するか検討をする場を設置することを要望しました。



阿部県知事に「若者の自殺対策に関する提言書」を提出



公明党長野県本部青年局は昨年末、県内の2,000人を超える青年に自殺に関するアンケート調査を実施。2月20日、その結果を踏まえた「若者の自殺に関する提言書」を阿部知事に提出。「子どものSOSの出し方教育プログラム」の開発と、LINEなど「SNSを活用した自殺防止の啓発活動」の2点を要望させていただきました。阿部知事からは「しっかり受け止め、実効性のある取組をしていく。」とコメントを頂きました。

発行： 勝山ひでお

TEL/FAX 026-219-2016



長野市下駒沢2253-1

E-mail: katsuyama@nkomei.com

3月議会の個人質問

初当選以来、毎議会一般質問に立たせていただいております。3月議会では「自殺対策について」、「人工内耳装用者支援について」、「狭あい道路の解消について」、「住宅用火災報知機について」の4点について質問をさせていただきました。主な質問の内容、答弁は以下のとおりです。



自殺対策について

勝山 公明党長野県本部青年局は昨年末、県内の青年を対象に自殺に関するアンケートを行い、提言書にまとめ阿部知事に提出した。本市が策定する自殺対策の参考にしたい。

保健所長 自殺に実態分析や効果的な自殺対策を検討する上で、参考にしたいと思う。

勝山 現在、学校では「命の大切さを伝える教育」を実施している。しかし、理念的、倫理的な説得だけでなく、追い込まれたときに具体的に周りにSOSを出すスキルを教えることが重要だと考える。また、子供が出したSOSを周りの大人が受け止められるよう、先生や地域の大人の体制づくりが必要だと考えるが。

教育次長 「若者の自殺対策に関する提言書」の内容を参考に効果的な取組を研究する。また、関係各課と協力して、大人が若者の自殺の実態や自殺予防教育の重要性を知る機会を設け、自殺予防について考える場を構築したい。



人工内耳装用者支援について



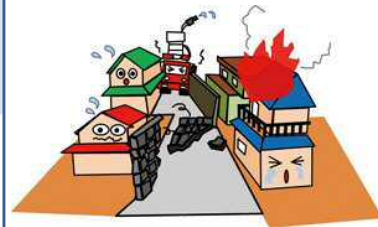
勝山 人工内耳体外機（スピーチプロセッサ）の買い替え、修理費、専用電池への助成を検討すべき。

保健福祉部長 障害者の日常生活を支援する日常生活用具として位置づけ、支援制度の導入に向けて検討する。

狭あい道の解消について

勝山 拡幅の必要のある道路区間を「優先区間」と位置づけ、建設部、消防局、区で情報を共有して継続的かつ優先的に狭あい道路の解消に取り組むべき

建設部長 消防局等関係部局と連携し、地域の皆様と相談しながら、「優先区間」の情報共有を図るとともに、「狭あい道路整備事業」や「市道の拡幅改良事業」に反映させ、継続的かつ計画的な狭あい道路の解消に努めていく。



住宅用火災報知器について



勝山 これから多くの住宅用火災報知器が電池交換の時期になると予想されます。火災報知器の電池交換時期に関する周知の取組について伺う。

消防局長 3月の広報なので、定期点検、早めの電池交換、故障や有効期限の切れた機種は新品へ交換することを広報した。今後も広報用チラシの配布やラジオ、バス広告などを利用し、住宅用火災報知器が適正に作動するよう広く市民に呼び掛けていく。